

古文書を読む会学習記録

作成日 平成27年 4月 9日

開催日	平成27年 4月 9日	時 間	10:00～12:00
場 所	金沢公会堂	出席人数	13 名
講 師	真田雅行氏	作成者	山根 美智子
テーマ	第 1 学習 永嶋家文書④		
概要	<p>「異国船取押方日記」を読む。</p> <p>弘化 2(1845)乙巳年 3 月 2 日～15 日の浦賀水道付近の異国船監視に関する記事。</p> <p><3 月 2 日> 見廻りは何事もなければ今日引取る様近藤殿より伝えられる。それ以前にも浦賀奉行を通じ老中阿部伊勢守の達しとして同様の事が伝えられていたので戻る積りでいたが、九十九里辺に異国船発見との報があったので確認の為勝浦迄行こうと思ったが生憎の時化で洲之崎へ戻った。</p> <p>そこへ下総守の御用船が布良より来たので様子を尋ねると異国船は見当たらないとの事で安堵して宿所へ戻り日和待ちをした。</p> <p><3 月 3 日>大房(鯛房)に滞船の積りで出帆し、洲之崎浦を乗廻ったが風雨に翻弄され繋留先を思案している内に日暮れとなってしまった。</p> <p>そこで水夫達に出精すれば酒を振舞うと励まし夜八時(午前 2 時頃)に浦賀に戻りその後御改めを請け宿所に到着。</p> <p><3 月 4 日>鴨居から陸路で大津陣屋に向かい報告書を提出、劳われて帰村の許可出る。当日午ノ刻自宅に帰る。</p> <p><3 月 10 日>郡代所より「異国船を発見したので即刻罷り出る可」の知らせあり悪天候に阻まれ翌日大津陣屋に着届けを出し観音崎御備場に着いた。</p> <p>御船奉行より「3 月 10 日洲之崎沖で異国船を発見した漁師から三崎詰所へ届出があり、早速下総守衆、大津陣屋衆、浦賀奉行衆らが出向き、異国船は鯛房に繋留 11 日に浦賀へ引きつけになる」との詳報を知る。</p> <p><3 月 14 日>阿波と南部の漂流民を引取り、異国船へは薪、水(或は他の品々も)を供給。</p> <p><3 月 15 日>異国船には出帆の下知がくだる。</p> <p>警固衆は大島沖まで異国船が立ち去るのを見届け、その後番所へ、帰船後具に御改め(船、乗組員、備品等)を請け、やっと帰村のはこびとなった。</p> <p>*この場合の異国船とは米捕鯨船マンハタン号で弘化 2 年 2 月 18 日から同年 5 月 1 日までの川越藩相州大津陣屋の記録(松平家文書)にもみられる。</p>		
次回予定	4月23日 第2学習 ジョン万次郎帰朝記事④ 於金沢区民活動センター		